

① 八王子市・・・「食育推進計画」の中で年代別の目標を設定

取組内容	小・中学校9年間を見通した食育を推進するために、食育推進計画の中で、『中学校を卒業するまでに「自分で弁当を作ることができる子ども」を育む。』ことを最終目標とし、年代別に示した目標を踏まえた指導を行うこととしている。 ●小・中学校の9年間を通して行う指導の概念図● ●中学2年生 学習指導事例(技術家庭科)● ○題材 「夏休み・家族のために昼食をつくろう」 ○指導計画(12時間) 1 「食事のとり方を考えよう」 2 「栄養のはたらきを知ろう」 3 「食品に含まれる栄養を知ろう」 4 「バランスのとれた食生活を考えよう(献立作成)」 引用:「八王子市立小・中学校における食育推進計画(平成24年4月八王子市教育委員会)」
-------------	--

②福岡市・・・「食育指導計画・事例集」を活用した指導

取組内容

「学校における食育を効果的に行うためには、全教職員で共通理解を図った上で学校教育活動の中に明確に位置付けて取り組むことが求められる。そのためには、校内指導体制の整備や、食に関する指導の全体計画を作成することが重要である。」とし、教科と関連付けた食育指導の全体計画を作成。指導案の事例集も掲載し、各学校での活用を期待している。

●年代別の到達目標(食育指導全体計画(中学校)より抜粋)●

小 学 校	食に関する指導の到達目標		
・日常の食事に興味・関心をもつことができる。 ・正しいマナーを考えて楽しく食事ができる。 ・朝食をとることの大切さを理解し習慣化している。 ・栄養のバランスのとれた食事の大切さがわかる。 ・食品の衛生に気を付けて、簡単な調理をすることができる。 ・食事にかかわる多くの人や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。			
	1 年	2 年	3 年
	・毎日規則正しい食事をとることができる。 ・自分の生活や将来の課題をみつめ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。	・食環境と自分の食生活とのかかわりについて理解することができる。 ・身体の発達に伴う必要な栄養素や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養について理解する。	・生活の中で食事が果たす役割や健康とのかかわりを理解する。 ・1日分の献立をふまえ、簡単な日常食の調理ができる。 ・食品の安全で衛生的な取扱いができる。

<学習指導事例>

○題材:朝食の働き ○対象:中学1年生

○目標:朝食の必要性を認識し、朝食を食べようという意欲の向上と喫食の習慣化の定着

(小学5年生でも行われているが、中学校でも継続した指導を行う)

●指導内容例①学力と朝食の関係●

朝食をきちんと食べるとテストの点が良いことに気づかせるため、福岡市学力実態調査の結果を掲示

朝食の状況	得点 (平均)
必ずとる	68
たいていとる	62
ほとんんどらない	55
ほとんどとらない	52

●指導内容例②朝食の摂取と太り方の関係●

毎日朝食を食べる場合と食べない場合の太り方の違いについて知るため、太るために朝食を食べない力士の生活と生徒の生活を比較

時間	力士の1日	中学生の1日
5時	起床	起床
6時	入浴	朝食
7時	朝食	朝食
8時	自由時間	朝食
9時	自由時間	朝食
10時	自由時間	朝食
11時	自由時間	朝食
12時	自由時間	朝食

引用:「教科等と関連付けた食育指導計画・事例集(平成20年3月福岡市教育委員会)」